

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.98

2008/01/30

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

## 吹雪で明けた2008年・・・



雷鳴・吹雪の中の『守護岩』初詣 (08/01/01)



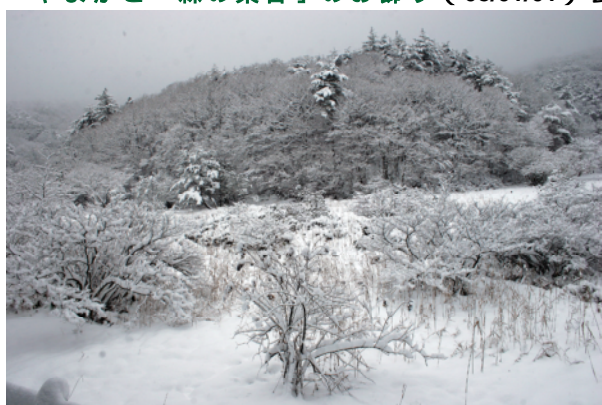
「やまかど・森の楽舎」のお飾り (08/01/01)

恒例の元旦『守護岩初詣』は、年を重ねるにつれ参加者が増え、今年は 11 名と過去最高となりました。年末の暖冬傾向から、積雪のない初詣かと思われましたが、年明けを待ちかまえたように降り始め、雷鳴・吹雪の中の初詣となりました。「やまかど・森の楽舎」には、



会長の竹端氏が正月用のお飾りも 3 力所にしていただいております、気分新たに守護岩に向かいました。新雪の観察コー

「ブナの森」の急階段を・・・ (08/01/01)



新雪が美しい北部湿原 (08/01/01)

雪が美しい北部湿原 (08/01/01) 困気を醸し出してくれました。守護岩での積雪も 18 cm と少なく、副会長の浅井氏の例年通りの手間要りの注連縄とお飾りをして 2008 年の本会の活動が更なる発展をと祈願しました。同時に各自持参の各種御神酒やおせち料理で祝宴を開催したものの、時節柄と猛吹雪ということもあり震えながらの宴となりました。

積雪期の動物の移動は、沢沿いが多く使われます。障害物が少ないことと、餌になる植物の露出度が高いためと思われます。北部湿原未作業地のシカの足跡 (08/01/10)



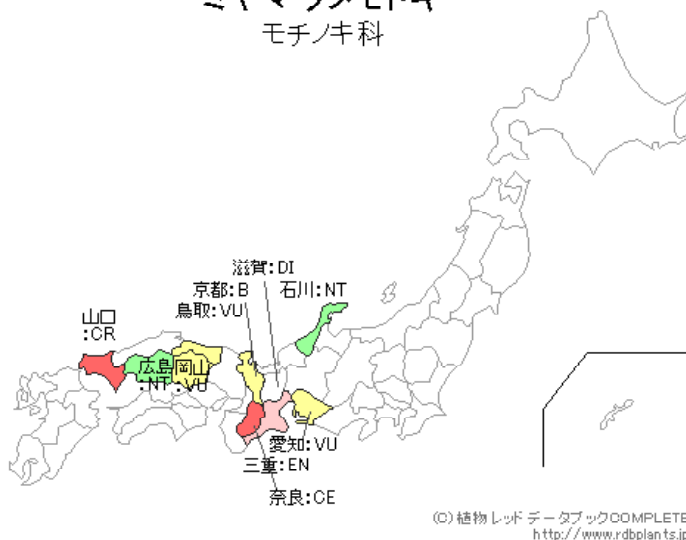


湿原に積雪量が多い場合は雪面の曲線美と雪上の動物の足跡がアクセントを付けている。が今年のように積雪量が少ないと、池塘の凍結が創り出す模様とミヤマウメモドキの赤い果実とその樹形である。ミヤマウメモドキは、東北地方、中部地方～近畿地方の日



雪圧で曲げられた枝 (08/01/17)

### ミヤマウメモドキ モチノキ科



(C) 植物レッドデータブック COMPLETE  
http://www.rdbplants.jp

### ミヤマウメモドキをレッドデータに入れている府県 (<http://rdbplants.jp/indexRDB.htm> より)

多い株では 1 株から 50 本近くの幹がそそり立っている。これが 1 本の株から株別れしたとは到底思えないからである。また播種した種子からは、左上



跳ね上がる直前のミヤマウメモドキ (08/01/15)



ミヤマウメモドキの林立する株 (08/01/17)



本海側の山地に分布しており、南の県ではレッドデータブックに記載されているところもある。山門水源の森では、湿原と四季の森に分布している。が以前からこの株立ちの多さに疑問を抱

ミヤマウメモドキの実生 (06/09/11) いていた。



雪解けで枝が戻るときに種子落下 (08/01/17)

の画像のように 1 本の芽しか出ない。が観察を続けると一カ所に大量の種子が落下している所がある。これは、実の付いた枝が雪圧で押さえつけられていたものが、雪解けで元に戻るときに落下したものである。この YAMAKADO NEWSLETTER を編集している時点も、山門水源の森は降雪が続いている。またまた枝が雪で撓んでいることであろう。一冬に何回かこのようなことを繰り返し、落下した種子が 1 カ所にかたまって発芽し多くの株立ちとなるのではないかなと思われるのだが、これは春以降の観察を待たねばならない。播種した種子は 5 月には発芽するはずである。

冬場の訪問者の少ない時期に、ゆったりと歩きつつこの時期にしか見られない現象を見つけ出すのもなかなかおもしろいものです。「ブナの森コース」は、非常に滑りやすいのでご注意下さい。